

善行地区の今後の取組み資料

目 次

- | | | |
|---|----------------------|-----------|
| 1 | これまでの経緯 | ・ ・ ・ ・ 1 |
| 2 | 地域内交通の導入に関する優先エリアの設定 | ・ ・ ・ ・ 2 |
| 3 | 実証運行にむけて | ・ ・ ・ ・ 4 |

第5回 藤沢市地域公共交通会議

2014年3月26日（水）

藤 沢 市

1. これまでの経緯

①「のりあい善行」のめざした運行形態

目的：高齢者等の外出支援（駅・病院・買物等）
目的地：市民病院,善行駅,藤沢本町駅,スーパー,市民センター
資金：自治会費,支援金,協賛金(企業・個人)
支援：市の車両補助
形態：白ナンバー、ボランティアドライバー
運賃：無償（道路運送法によらない）

【平成 24 年度試運行によって見えてきた課題】

無償運行が既存公共交通への影響を与えるため交通事業者との合意形成
（鉄道駅、市民病院等への乗入れ不可、既存交通との棲み分け）

【平成 25 年度運行に向けた問題点】

- ・ 駅・病院に行けないため、高齢者等の移動目的の達成が困難
- ・ 自主運行のため運転手確保が困難
- ・ 安全管理体制・責任の所在の明確化
- ・ 資金計画

「試運行」結果の推進では、現状の改善が難しい点があるため、
道路運送法に基づく有償での可能性も検証が必要

交通会議での合意が必須要件となるため、採用する可能性を
残すため、平行して交通会議の議論を進める。

問題解決に向けた
計画の見直し

②有償化で想定される運行形態

目的：高齢者等の外出支援
（駅・病院・買物）
目的地：市民病院,善行駅,藤沢本町駅,
スーパー
資金：未定
支援：未定(実証実験として支援を予定)
形態：緑ナンバー、交通事業者委託
運賃：有償

③平成 24 年度 試運行の一部見直し

目的：限定的な高齢者の外出支援
目的地：市民センター
資金：自治会費,支援金,協賛金(企業・個人)
支援：市の車両補助
形態：白ナンバー、ボランティアドライバー
運賃：無償（道路運送法によらない）

新たな課題

- ・ 有償運行形態を支える組織
- ・ 資金計画
- ・ 実証運行の実施方法

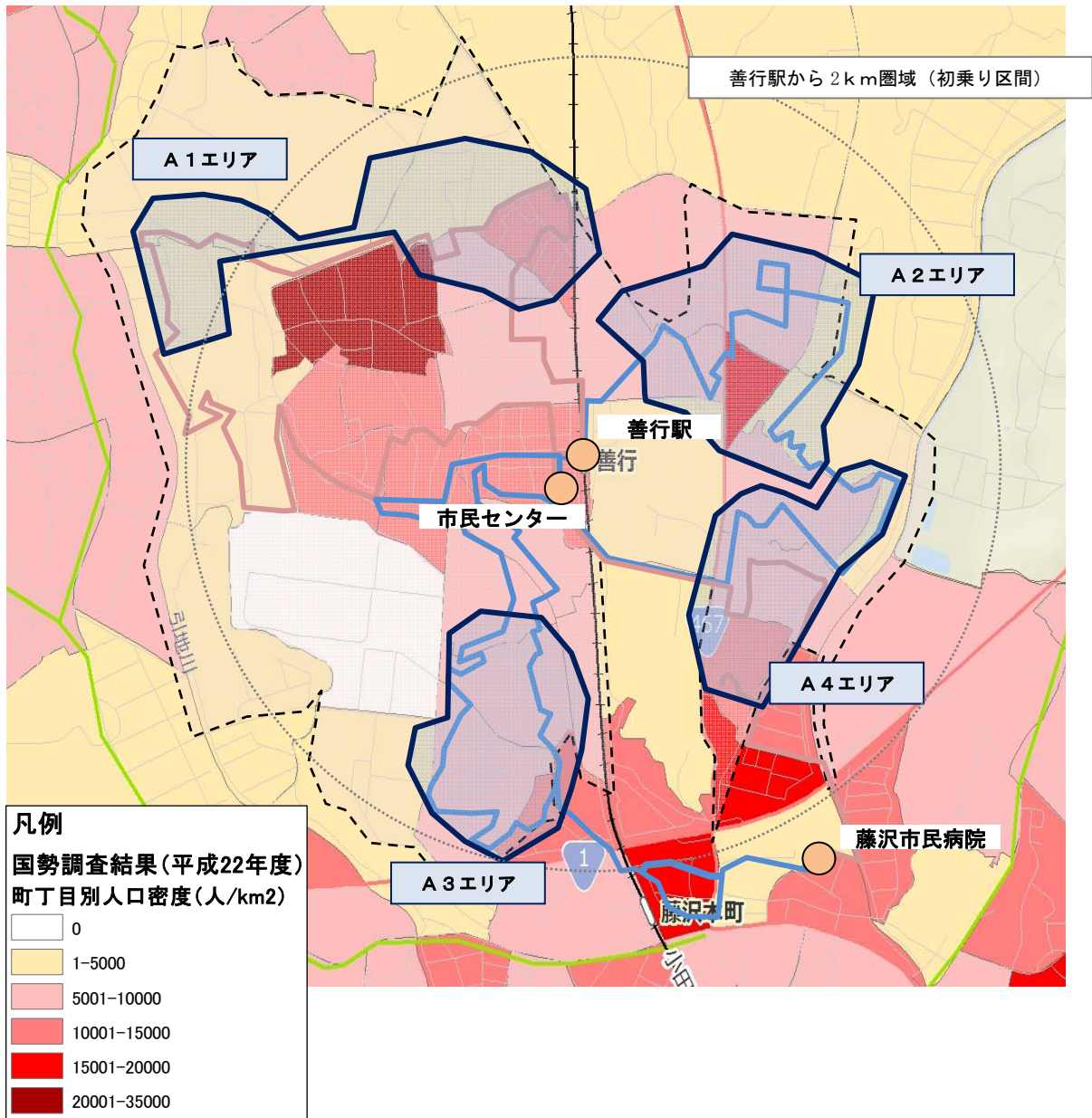
2. 地域内交通（予約型乗合タクシー等）の導入に関する優先エリアの設定

- 交通マスタープランに示す「徒歩、バス、自転車で最寄駅まで15分以内に行ける交通体系を目標」とすることを念頭に、善行地区での地域内交通（予約型乗合タクシー等）の導入について、優先エリアを以下の通り設定します。
- 優先エリア1における地域内交通（予約型乗合タクシー等）の導入を最優先とし、その後、優先エリア2、優先エリア3の順に導入をめざします。

優先エリア1 ⇒ **A2エリア**、**A4エリア**
 優先エリア2 ⇒ **A1エリア**
 優先エリア3 ⇒ **A3エリア**

	鉄道駅へのアクセス	エリアの人口分布	試運行における利用傾向	導入の必要性
A1エリア	エリアの大部分は、善行駅までバスで15分圏域に入っているが、北西部の一部地域では、徒歩、自転車、バスいずれを用いても善行駅まで15分で行けない部分がある。○	エリアの大部分は人口密度が低いエリアとなっているが、東部の一部では人口密度が高くなっている。△	61人の利用であり、全利用者数の14.4%を占めた。(多い傾向)○	エリア内の大部分は現状のバス路線を利用して善行駅まで15分以内アクセス可能 ⇒優先エリア2に設定○
A2エリア	エリアの多くの部分で徒歩、自転車、バスいずれを用いても善行駅まで15分ではアクセスできないエリアとなっている。○	エリアの多くで、人口密度が高くなっており、特にエリアの西部、中部において人口密度が高くなっている。○	72人の利用であり、全利用者数の16.9%を占めた。(非常に多い傾向)◎	善行駅へ徒歩、自転車、バスいずれを用いても15分でアクセスすることが困難 ⇒優先エリア1に設定◎
A3エリア	エリアのほとんどがバスを利用して鉄道駅まで15分圏域となっており、4つのエリアの中では比較的公共交通が充実しているエリアである。△	エリア全体で、人口密度が高くなっている。◎	41人の利用であり、全利用者数の9.6%を占めた。(少ない傾向)△	エリア内の大部分がバスを用いて鉄道駅へ15分以内アクセス可能 ⇒優先エリア3に設定△
A4エリア	エリアのほとんどは自転車で鉄道駅まで15分圏域となっているが、善行駅方面に向けては勾配が大きく、自転車でのアクセスが困難な状況となっている。◎	エリア全体で、人口密度が高くなっており、特にエリアの南部において人口密度が高くなっている。○	57人の利用であり、全利用者数の13.4%を占めた。(多い傾向)○	善行駅へ自転車を15分以内アクセス可能であるが、勾配が大きく、高齢者の移動は困難 ⇒優先エリア1に設定◎

<参考>優先エリアの位置図



	面積(ha)	人口(人)	人口密度(人/ha)
A1エリア	56	2,657	4,687
A2エリア	52	3,771	7,234
A3エリア	36	3,297	9,029
A4エリア	42	3,139	7,426

図 優先エリアと面積、人口の比較

3. 本格運行に向けた流れ

(1) 実証運行の考え方

○前提条件

- ・本格運行では、初期の準備費用以外の運行維持に関する市からの補助は想定しないため、実証運行時点でも運賃収入または会費や基金を合わせた収入で運行経費を賄えると判断されるよう収支バランスを確保することが条件となります。

○地域交通の導入・継続の判断

- ・実証運行から本格運行への移行、本格運行の継続の判断のフローを以下に示します。

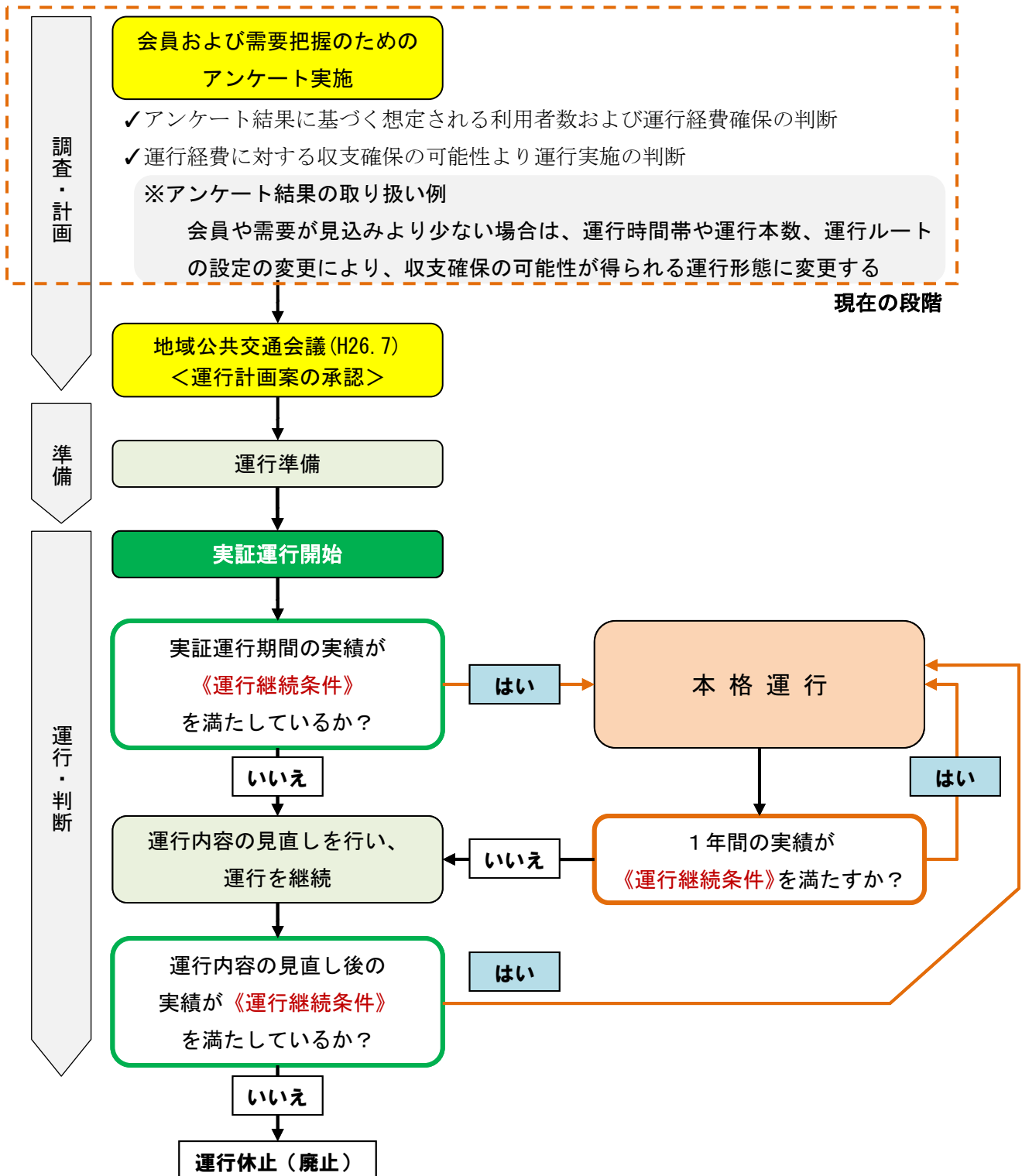


図 実証運行から本格運行への移行、本格運行の継続の判断のフロー

(2) 想定する実証運行の概要

現在想定している実証運行の概要は以下の通りです。

○運行概要

運行形態	定期路線型を前提とする ※但し、アンケート結果によってはデマンド型の可能性もあり
車両	セダン型車両を基本（タクシー会社の保有する車両）
事前予約	なし（但し、会員は、事前予約を行って乗りこぼされないように席を確保することが可能）
追尾車	確保できるよう調整中（乗りこぼしが発生の可能性が高まった段階で、無線配車等）
事業者	フジ交通、湘南相中（午前・午後で分割して運行）※時間帯で同じ路線を分ける運行形態については、運輸支局と調整
運賃	1乗車300円（会員の場合は、割引あり）
運行頻度	1時間に1本
運行日	アンケート結果に依存（平日のみを基本とするが、土日の利用が多い場合には調整）
運行時間	9時台～16時台（アンケート結果によって調整する）
運行ルート	別紙（次頁参照） 会員数、アンケートの利用意向が多く認められる場合には、2つのルートに分割する案とする

○会員

	運賃（想定）	会費	メリット
会員	300円/回	500円/月	・運賃の割引 ・予約席の確保
非会員	400円/回	———	———

※ 実証運行の場合は、期間に関わらず1000円 3ヶ月以上を想定

○その他

企業提携	企業提携をめざす。スーパー等の利用者に対する運賃の補助等を検討する。
車両台数	実証運行で使用可能な車両の台数を、各社10台程度確保する。

<想定する運行ルート>

下図のように、1循環でA 2エリアとA 4エリア全体をカバーして善行駅を結ぶ案を想定します。

路線の距離および想定所要時間（タクシーによる試験走行の結果[2月27日に試験走行実施]）

- 1周当たりの走行距離 約 4.5 km
- 所要時間 約 16分30秒
- タクシーメーター運賃 1,880円

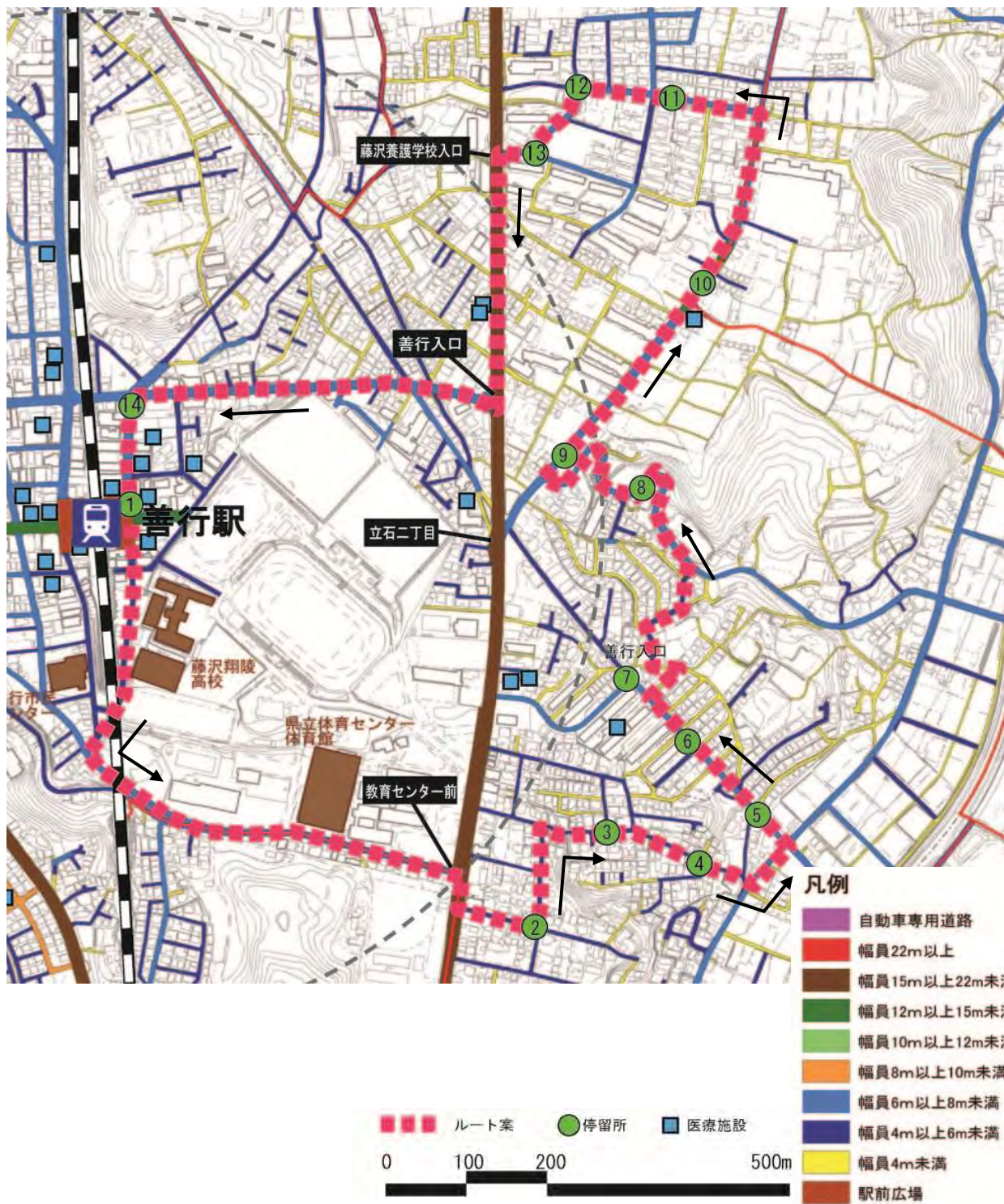
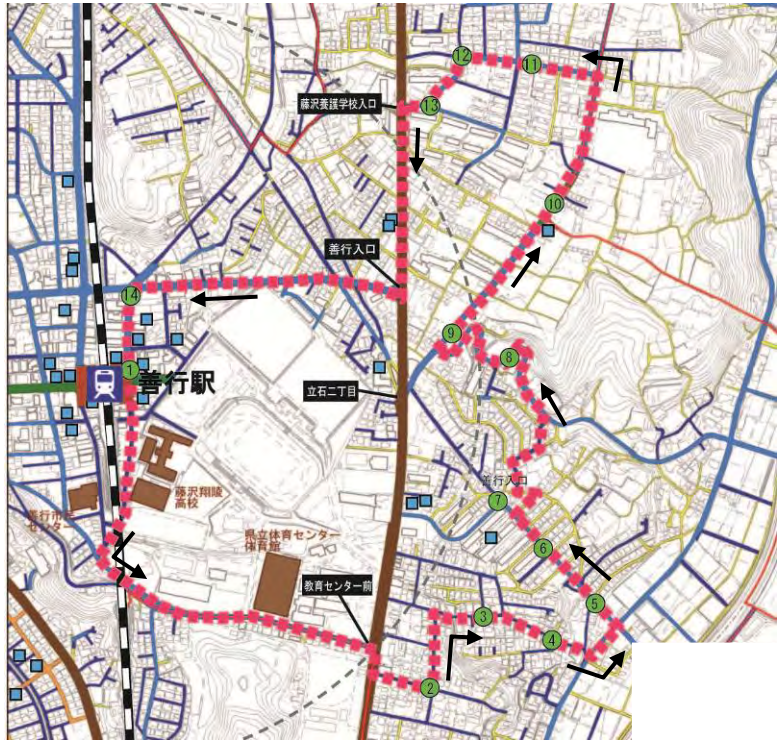


図 想定されるルート

なお、全体ルート他に、A2、A4のエリアを個別に回るルートの考え方があります。全体を回るルートを設定し、セダン型（運転手を除く定員4名）とした場合、一循環に同時に乗車できる利用者は4名のため、多くの需要（利用）が発生した場合に乗りきれないということがあります。このため、利用者が多いことが調査で判断されれば、A2、A4エリアを個別に回る案が考えられます。

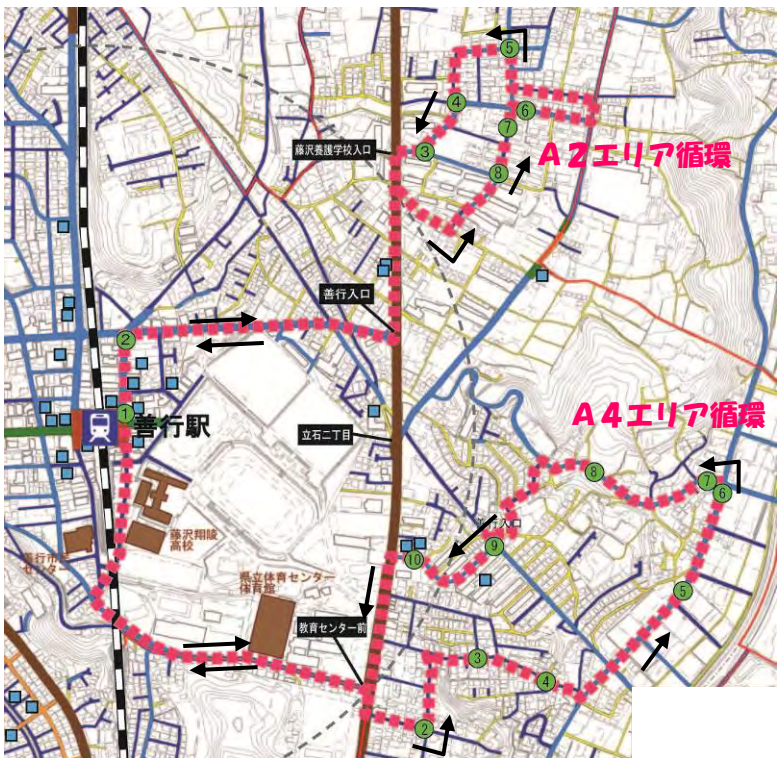
● A2、A4のエリア全体を循環する案

- ・ 1周当たりの走行距離約 4.5km※
 - ・ 所要時間約 16分 30秒※
 - ・ 想定停留所数 14箇所
- ※走行距離、所要時間は走行試験により設定



● A2、A4のエリアを個別に循環する案

- A2エリア循環**
- ・ 1周当たりの走行距離約 2.9km※
 - ・ 所要時間約 13分 40秒※
 - ・ 想定停留所数 8箇所
- A4エリア循環**
- ・ 1周当たりの走行距離約 3.9km※
 - ・ 所要時間約 14分 45秒※
 - ・ 想定停留所数 10箇所
- ※走行距離、所要時間は走行試験により設定



(3) 事業者の委託内容の調整・委託経費の試算

A2エリアとA4エリアをカバーして善行駅を結ぶ前ページの路線案について、2月下旬にタクシー車両を用いた走行試験を実施した。

1周当たりの走行距離約4.5km、所要時間約16分30秒、タクシーメーター運賃1880円であった。




上記より、コストシミュレーションとして以下の条件（あくまでも仮設定により試算）に基づいた場合の運行が成立するための利用者数について試算を行った。

<試算上の設定条件>

- ◎運行条件 1循環あたり運行単価 1900円と想定（走行試験時のタクシーメーター運賃より）
 運行本数8循環（仮設定）
 運行日は平日を基本とする（土日は運行しない）
- ◎会員数 200人
- ◎会費 500円/月



表 運行経費と収支が成り立つために必要な利用者数の試算

項目	内容	定時定路線型
運行条件と経費 	一循環あたり運行単価	1,900 円/1循環
	運行本数	8 循環
	一日あたりの運行経費	15,200 円/日
	一月あたりの運行経費	334,400 円/月
会費 	一人あたり会費	500 円
	会員数	200 人
	一月あたり徴収会費	100,000 円/月
その他	協賛金	0 円/月
必要となる 運賃収入と利用人数 	一月あたり必要収入	234,400 円/月
	運賃	300 円/1乗車
	一月あたり必要利用人数	781 人/月
	一日あたり必要利用人数	35.5 人/日
	一循環あたり必要利用人数 ※	4.4 人/循環
参考	会員一人あたり 月の必要利用回数	3.9 回

一循環あたり必要利用者数とは・・・・・・ 駅周辺から地区へ向かう往路と地区から駅周辺へ向かう復路を合計した人数

(4) アンケートの実施予定と結果の取扱いについて

地域住民の組織と連携するなかで、今後アンケート調査を予定しております。

アンケートの主な目的は、住民への高齢者等移動支援に関する活動の周知と、今後の実証運行に向けた需要把握となります。

○アンケート対象者

アンケートの対象者は、運行を予定する地域の中中学生以上全員を想定しております。

○アンケートの利用方法

実証運行に向けたアンケートの需要等の把握については、次のような利用を想定しております。

- ・ 運行形態、運行時間、運行頻度、運行ルート、運行曜日等に反映。
- ・ 回収したものを全数と判断した、需要予測。
- ・ アンケートで得られた需要によって、運行形態を決定。

○アンケート様式（案）

次頁よりアンケート様式（案）を示しております。

2014年（平成26年）5月

各 位

善行地区郷土づくり推進会議

議長 □□ □□

藤沢市 計画建築部 都市計画課

課長 △△ △△

善行地区東部での緑ナンバー（有料）による 公共交通の導入アンケートにご協力ください

本用紙をお読みの上、「別紙」に示す“運行エリア”やアンケート冒頭の“想定される公共交通の前提条件”をご覧になりながら、ご家族の中学生以上の方が、「**調査票**」にご回答ください。

日頃より本会議の活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

現在、交通が不便な地域の改善を、次のように進めることとしております。

- ・善行駅東側の地区（別紙参照。）に公共交通の導入を優先して計画する。
- ・継続的な運行に先立って数ヶ月の実証運行を行う。
- ・実証運行は、将来の継続的な運行の可否を判断するために行う。
- ・当面の運行資金は、利用者の運賃および会費でまかなう計画。
- ・実証運行に向けては、今回のアンケート調査に基づき計画し、利用者、会員について
目途がたった段階で、数ヶ月行う予定。
- ・アンケート結果で利用が見込まれない場合には中止も検討する。
- ・アンケート結果と実証運行で乖離が大きい場合には、計画の見直しも検討する。

今回のアンケート調査は、この地区で新たな公共交通を導入するための重要な資料として
利用する予定です。住民の皆様のご協力をお願いいたします。

<留意事項>

- お答えいただいたアンケート調査票を●月●日まで ●●まで提出してください。
- アンケートは、対象となる地域の方にお配りしています。お答えいただいた内容は、
調査目的以外に使用することはありません。
- ご不明な点につきましては、お手数ですが下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

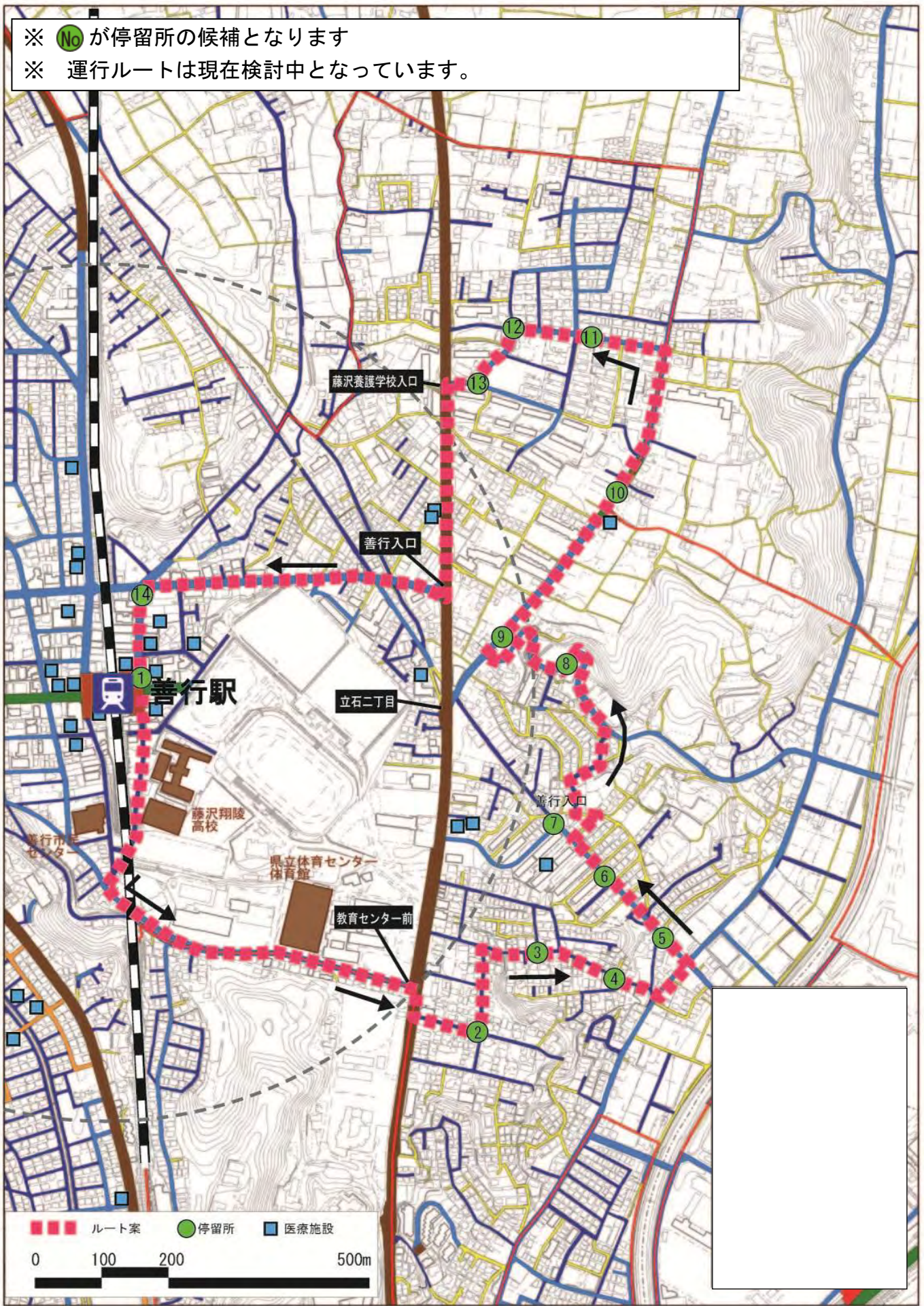
：藤沢市 善行市民センター

電話 81-4431

：藤沢市 都市計画課 都市交通計画担当

電話 50-3537

善行地区での新たな公共交通の導入範囲および想定する停留所



善行地区での緑ナンバーによる新たな公共交通の導入アンケート

このアンケートは、ご家族のなかの、中学生以上の方がお答えください。
回答は、**該当する番号に○または()の中に回答をご記入**ください。

公共交通の導入にあたって仮定する条件 ※条件は今後変更になることがあります。

- ・ 運行ルート : **別紙**に示す停留所～善行駅東口
- ・ 所要時間 : 10分～15分程度
- ・ 運賃・会費 :

	運賃	会費	メリット
会員	300円/回	500円/月	・ 運賃の割引 ・ 予約席の確保
非会員	400円/回	_____	_____

利用は、会員制ではありませんが、会員・非会員で運賃等が異なります。

- ・ 運行頻度 : 1時間に1本程度
- ・ 運行時間 : 朝9時台～夕方4時台

問1 あなた自身について、お聞かせください。

性別	① 男性	② 女性		
年代	① 30歳未満	② 30歳代	③ 40歳代	④ 50歳代
	⑤ 60歳代	⑥ 70歳代	⑦ 80歳以上	
職業	① 会社員・公務員	② 学生	③ 主婦	④ パート・アルバイト
	⑤ 無職	⑥ その他 (_____)		
住所	藤沢市 (_____) ※番地の手前までご記入ください (例: 亀井野)			

問2 普段の移動状況についてお伺いします。

あなたが普段もっとも行う移動について、目的、頻度、交通手段をお答えください。

移動目的	①通勤・通学 ②買い物 ③通院 ④その他私事 ⑤その他 (_____)			
時 間	行き 善行駅に () 時～ () 時 ごろ	※駅等当てはまらない		
	帰り 善行駅に () 時～ () 時 ごろ	場合には回答不要		
移動頻度	①平日の週に5日以上	②平日の週に3～4日	③平日の週に1～2日	
	④休日のみ	⑤月に2～3日	⑥月に1日程度	⑦ほとんど外出しない
交通手段	①自家用車(自分で運転)		②自家用車(ご家族等の送迎)	
	③路線バス	④施設等の送迎バス	⑤鉄道	⑥タクシー
	⑦自転車	⑧徒歩	⑨その他 (_____)	
目的地	施設名 (_____)、 住所(任意) : _____			

問3 善行地区での新たな公共交通のシステムについてお伺いします。

(1) 新たな地域交通を利用するとした場合、1回あたり300円前後の料金がかかる見込みですが、最も適当なもの1つに○をつけてください。

- ①利用する
- ②料金が安ければ利用する(_____ 円くらい)
- ③運行頻度が改善されれば利用する(_____ 本/時間)
- ④運行時間が改善されれば利用する(_____)時~(_____)時まで
- ⑤料金などに関係なく利用しない ⇒ (4)を回答の上、問5にお進みください。
- ⑥その他(_____)

(2) 会費の徴収について、最も適当なもの1つに○をつけてください。

- ①利用するので会員になる
- ②利用は少ないが公共交通の継続的な運行のため会員になる
- ③会員にならない
- ④その他(_____)

(3) 会費の金額について、どのように考えますか？

- ①もっと高くても良い(_____)円/月
- ②適切
- ③安くすべき(_____)円/月

(1) で⑤以外の回答をされた方は、(3)まで回答し、問4以降にご回答ください。

(1) で⑤と回答した方は、次ページの(4)を回答の上、問5にお進みください。

※(1)で「⑤料金などに関係なく利用しない」とお答えになった方にお伺いします。

(4) 新たな公共交通を利用しない理由について、以下に理由をお書きください。

問4 善行地区での新たな公共交通の利用について

(1) 新たな公共交通の利用頻度について最も適当なもの1つに○をつけてください。

- ①ほぼ毎日
- ②週に3~4日
- ③週に1~2日
- ④月に2~3日
- ⑤月に1日程度

(2) 新たな公共交通の想定する利用時間帯について、行きと帰り別にお書きください。行き、あるいは帰りいずれかのみ利用の方は、いずれかのみお書きください。

- ①行き→(午前・午後)(_____)時ごろ
- ②帰り→(午前・午後)(_____)時ごろ

(3) 乗車停留所と降車停留所を別紙に記載する停留所番号からお選びください。

- ①乗車停留所→(_____)
- ②降車停留所→(_____)

※行き先が複数となる場合は、降車停留所を複数ご記入ください。

問5 自由意見(善行地区での新たな公共交通について、ご意見等あればお願いします)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。